

2003年6月6日

関係各位

財団法人 日本サッカー協会

### 第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則の適用について

平成15年第2回理事会において「第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則の適用」について、別紙のとおり決定しました。それぞれの協会、連盟などから加盟クラブ、チーム、審判員などの関係者に周知徹底を図られることをお願い申し上げます。

なお、この施行については、サッカーの2003年競技規則の改正に合わせ、本年7月1日からとします。各地域、都道府県の試合では、7月1日以降のしかるべき日から施行するようご手配いただきたく、お願い申し上げます。

## 第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則の適用について

### 第12条 反則と不正行為

「間接フリーキック」の後に次の条文を追加する。

#### (財)日本サッカー協会の決定

日本サッカー協会などが行う第3種以下のフットサル競技会においては、次の規則を適用する。

ゴールキーパーが手で投げた後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはグラウンドに触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

### 第17条 ゴールクリアランス

「違反と罰則」の後に次の条文を追加する。

#### (財)日本サッカー協会の決定

日本サッカー協会などが行う第3種以下のフットサル競技会においては、次の規則を適用する。

**ボールがゴールクリアランス**された後、**ボールが**競技者に触れるかプレーされる、あるいはグラウンドに触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

#### 日本協会の解説

フットサルは、原則として屋内でプレーされ、限られたプレーイング・エリアを活用しながら、スピーディーさを披露するところに醍醐味がある。2000年、FIFAは、第4回世界フットサル選手権大会もあり、その特長を更に引き出すべく、“ゴールキーパーから、ハーフウェーラインを越えて手で投げて、味方競技者にボールをフィードすること”を認め、競技規則を改正した。

この競技規則の改正は、一般のフットサルには高い効果を表した。しかし、成長差による体力差がプレーに大きな影響を与える第3種以下のフットサルでは、ゴールキーパーがハーフウェーラインを越えてボールを長身のフォワードに投げ、そのままゴールを狙わせる戦術が多くなり、時には、ゴールキーパー同士のキャッチボールが何度も続くという、フットサルにはほど遠いプレーが多く見られるようになった。これはフットサルの興味をそぐのみならず、正しいフットサルの技術向上を阻害することになっている。